

せりがや通信第4号

神奈川県立精神医療センターせりがや病院

依存症について（3）＜アルコールの離脱症状＞

皆様も薬物の禁断症状という言葉を目にしたことがあると思います。乱用していたアルコールや薬物が何らかの理由で中止されたときに起こる症状です。今は離脱症状と言います。アルコールの離脱症状である振戦せん妄は一般病院でもしばしばみられ、アルコール依存症の方がそれと気が付かれぬまま入院し手術などを受けると、この状態となり外科などで大変困ることがあります。離脱症状は依存性薬物を連用した結果、その薬物が体内にあることを前提とした、健常とは別の身体の適応状態ができ、薬物がなくなるとバランスが崩れるため発症すると考えられています。

アルコールの離脱症状は小離脱と大離脱に分けられます。小離脱は連用していたアルコールが中断されてから数時間後に始まり、不安、イライラ、抑うつ気分、発汗、ふるえ、ときにけいれん発作など見られます。数日後に起こるのが大離脱で振戦せん妄と言われている状態です。粗大なふるえ、興奮、幻覚、意識障害などがみられます。心不全などから命にかかわることもあります。数日間で改善してくるのが普通ですが、精神科専門病棟での治療が必要になることも稀ではありません。

これらの典型的なアルコール依存症の離脱症状が改善されても、イライラや怒りっぽさ、不安、不眠、抑うつ気分などが長期にわたり続くことがあります。この場合には症状に応じて抗不安剤、抗うつ剤、精神安定剤などが使われます。必ずしも離脱症状と断言はできないのですが、このような状態から逃れようとして飲酒に走る場合もあり、アルコール依存症の治療には見逃せない症状です。

特集：急性期の看護

急性期は断酒・断薬（お酒や薬物をやめること）により、手のふるえやイライラなどの離脱症状が現れる時期です。意識が混濁して幻視、幻聴などの幻覚症状が出る場合があります。

特に薬物依存症の患者さんは、低年齢化が進み 20 歳代の若年層が増えています。長期に薬物を使用していると、幻覚や妄想などの精神症状が激しく、興奮状態になることが多くあります。アルコール依存症の患者さんも、永年の飲酒により激しい精神症状が出現することがあります。また、離脱症状が消退後、痴呆症状が出現することもあり、その回復には長期間かかる場合があります。私たちは、離脱症状から患者さんの安全を守り安楽に過ごせるよう、身体面・精神面で一人一人の患者さんを 24 時間見守り、治療が出来るよう看護しています。患者さんは自分が依存症であると気づいていない、病気を理解できない、認められない状況で入院されます。スタッフ全員で患者さんの気持ちに心を傾け、依存症を理解し、お酒や薬のない日常生活が取り戻せるように、きめ細やかな看護をしています。また、ご家族に対しての支援も重要であると考えています。ご家族の気持ちを伺いながら、当院で開催している家族教室への参加を勧め、ご家族が回復していく上でとても役立つことを説明しています。

今回は、精神科専門療法
の中の一つ、集団精神療法
についてご紹介します。

集団精神療法の実施状況

依存症の治療プログラムには欠かせないものとして、せりがや病院では心理・相談科が集団精神療法を担当しています。アルコールや薬物についての教育や情報提供、現実の認識と受入れ、断酒・断薬、新しい生き方への援助などが目的です。「否認の病気」といわれる依存症の方が、自分の現実や問題などを見直し、生き方を変えていくためには、集団（仲間）の力が大切です。自分一人の力で「依存症」から「回復」するのはとても困難なことなのです。

せりがや病院では、入院数日後から院内集団精神療法に参加していただき、退院後の自助グループ参加に向け、グループミーティング体験を積んでいきます。心理・相談科が実施する集団精神療法は週に13回です。入院患者さんには対象別に11グループ。外来患者さんには、週2回、2グループの外来ミーティング。ご家族には月4回、2グループの家族教室があります。

既に、せりがや通信第2・3号で、外来ミーティングと家族教室についてお伝えしました。次号では入院患者さんのグループミーティングを紹介したいと思います。

<アルコール家族教室のご案内>

12月 1日(木) ②「アルコール依存症について」

12月 3日(土) ③「家族の対応」

12月 15日(木) ④「家族の対応」

1月 5日(木) ⑤「入院生活について」

1月 7日(土) ①「アルコール依存症について」

1月 19日(木) ②「アルコール依存症について」

*5回1シリーズで行っていますが、どの回からでもご参加いただけます。

時間：午後1時30分～午後3時30分

場所：せりがや病院 2階ダイケア室

<薬物家族教室のご案内>

12月 8日(木) ①「薬物依存症とは」

12月 22日(木) ②否認の心理(本人の心理)

1月 12日(木) ③自分自身を振り返る

1月 26日(木) ④家族の変化・本人の変化

2月 9日(木) ①「薬物依存症とは」

2月 23日(木) ②否認の心理(本人の心理)

*4回1シリーズで行っていますが、どの回からでもご参加いただけます。

日時：午後1時30分～午後3時

場所：せりがや病院 2階ダイケア室

外来からのお知らせ—再来診療の時間予約制の実施—

皆様、既にご承知のように、この9月から待ち時間の緩和を目的として、再来の方にも時間予約制を導入し2ヶ月が経過しました。まだしばらくの間は、予約していない方との混在があり、皆様にご迷惑をおかけする点もあると思いますが、診療が円滑に行えるよう努力していきたいと思っております。なお、予約のキャンセルや日時変更につきましては、平日の14時～16時頃にご連絡ください。

連絡先：電話 045-822-0365 外来窓口

〒 233-0006 住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 2-3-1

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/byouin/seisin/index.htm>

発行所 神奈川県立精神医療センター せりがや病院 編集委員